

授業科目

地域理学療法学

担当教員名 松本 香好美、今西 里佳	対象学年	3	対象学科	理学
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	4	時間数	60

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	◎	○

授業の概要

我が国は少子高齢化や人口減少による社会保障について大きな問題となっている。そこで本講座では社会保障制度を知り、地域における理学療法士の役割について学ぶ。また、我が国の施策の1つである地域包括ケアシステムを知り、職域を考える。さらに、理学療法士の役割の一つである住環境整備について学び、福祉用具の活用とともに住環境整備の方法について習得する。最後に、対象者が地域社会に戻る上での鍵となる排泄機能や動作等について学ぶ。

授業の目的

地域理学療法を知り、介護保険制度やサービス、関連職種について学ぶ。
 地域における理学療法士の役割について理解する。
 地域包括ケアシステムについて理解を深める。
 福祉用具や住環境整備について学ぶ。
 住環境整備の方法について習得する。
 排泄機能や動作について理解する。

学習目標

1. 地域理学療法について概要を知り、説明ができる。
2. 介護保険制度やサービスについて理解し、説明ができる。
3. 地域における関連職種との連携について学ぶ。
4. 地域における理学療法士の役割について説明ができる。
5. 地域包括ケアシステムについて学ぶ。
6. 住環境整備について学ぶ。
7. 福祉用具について理解を深め、説明ができる。
8. 事例を通じて問題点を抽出し、適切な介入内容とサービス提供案を提示できる。
9. 事例を通じて住環境整備を創造し、自身の考えを述べるができる。
10. 住環境整備のための方法について説明ができる。
11. 排泄機能・動作について理解し、説明ができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	地域理学療法の概要	講義	松本 香好美
2	介護保険制度, 障害者自立支援法	講義	松本 香好美
3	地域における関連職種との連携	講義	松本 香好美
4	疾患別にみた地域理学療法	講義	松本 香好美
5	介護保険制度と地域理学療法1	講義	松本 香好美 他
6	介護保険制度と地域理学療法2	講義	松本 香好美 他
7	介護保険制度と地域理学療法3	講義	松本 香好美 他
8	介護保険制度と地域理学療法4	講義	松本 香好美 他
9	地域理学療法の実際1	講義	松本 香好美 他
10	地域理学療法の実際2	講義	松本 香好美 他
11	地域包括ケアシステム1	講義	松本 香好美 他
12	地域包括ケアシステム2	講義	松本 香好美 他
13	事例検討1	講義	松本 香好美 他
14	事例検討2	講義	松本 香好美 他
15	住環境について1	講義	松本 香好美
16	住環境について2	講義	松本 香好美

17	福祉用具について	講義	松本 香好美
18	自立支援のための住宅改修（福祉用具）アセスメント技術1	講義	松本 香好美 他
19	自立支援のための住宅改修（福祉用具）アセスメント技術2	講義	松本 香好美 他
20	事例検討3	講義	松本 香好美 他
21	事例検討4	講義	松本 香好美 他
22	居宅サービス計画の立案に向けた課題分析1	講義	松本 香好美 他
23	居宅サービス計画の立案に向けた課題分析2	講義	松本 香好美 他
24	障害者や高齢者の生活環境のアセスメント1	講義	松本 香好美
25	障害者や高齢者の生活環境のアセスメント2	講義	松本 香好美
26	実際の場を想定した住宅改修・福祉機器について1	講義	松本 香好美
27	実際の場を想定した住宅改修・福祉機器について2	講義	松本 香好美
28	排泄機能・動作について1	講義	今西 里佳
29	排泄機能・動作について2	講義	今西 里佳
30	まとめ	講義	松本 香好美

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	地域リハビリテーション学テキスト 改訂第2版	細田多穂（監修）、備酒伸彦（編集）、樋口由美（編集） 他	南光堂	2012年	4,200円 +税	配布資料
参考書	標準理学療法学 地域理学療法学 改訂第3版	牧田光代（編集）、金谷さとみ（編集）	医学書院	2012年	4,935円	
	地域理学療法学 第1版	重森健太（編集）	羊土社	2015年	4,500円 +税	
	生活環境論-生活支援の視点と方法-第6版	木村哲彦（監修）、安梅勅江、岩崎洋 他	医歯薬出版株式会社	2010年	6,800円 +税	
	OT・PTのための住環境整備論 第2版	野村歡、橋本美芽	三輪書店	2012年	4,200円 +税	
その他の資料						

評価方法

知識理解の確認として小テストまたは課題提示を行う。
 定期試験で60点以上であることが単位取得において必須である。
 その点数に小テストまたは課題の内容、意欲的に取り組む授業態度等を加味し、成績を評価する。
 評価の割合は、定期試験80%程度、その他20%程度とする。

履修上の留意点

授業計画が前後する場合があります。
 詳細な授業計画・授業日程は初回授業時に提示します。

オフィスアワー・連絡先

【松本】 オフィスアワー：月・火・木の17:00～18:00、連絡先：kayomi-matsumoto@nuhw.ac.jp
 【今西】 連絡先：imanishi@nuhw.ac.jp（オフィスアワーはメールにてご確認ください）